

～10代から始める農業生活～  
越智 一美さん(今治市(旧菊間町))

達己農園 代表 1991年生まれ  
JA おちいまばり果樹研究同志会副会長(菊間支部会長)



☆経営概況☆

経営面積 230aで、果樹栽培に取り組んでいます。

栽培品目は、温州みかん(極早生、早生、中生) 118a、はれひめ 18a、愛媛果試第28号 14a、甘平 45a、キウイフルーツ 35a

労働力は、本人、母が主体で、祖父母の4人。収穫作業の繁忙期には、親せきの方に手伝ってもらっています。

☆ここがポイント☆

小さい頃から自然が好きで小中学生の時に、母方の祖父母の果樹園地に作業の手伝いをしにきていました。祖父母も高齢となり農業を止める体制になっていましたが、農園を荒廃園にしないように祖父母の農業を継ぐこととして、西条市内の高校(普通科)卒業後、母の実家に就農しました。

就農当初は、温州みかんとキウイが主体でした。園地には老木も多いため、高単価品種(愛媛果試第28号、甘平等)の栽培にも取り組むこととして、老木を順次改植しています。

就農2年目に、JA おちいまばり EPC 部会に加入して、温州みかんの減農薬栽培に取り組んでいます。作業内容は、祖父母との作業を通じて学びましたが、その作業をする意味や理由等の栽培管理知識や技術は、部会に加入することで、習得する機会を得ました。

愛媛果試第28号は、地元のハウス団地で生産する6戸の農家で設立した「松尾坊っちゃん倶楽部」のメンバーとして、マルドリ栽培の新しい技術にも取り組んで、先輩農家と情報交換しながら切磋琢磨して栽培技術の向上にも努めています。

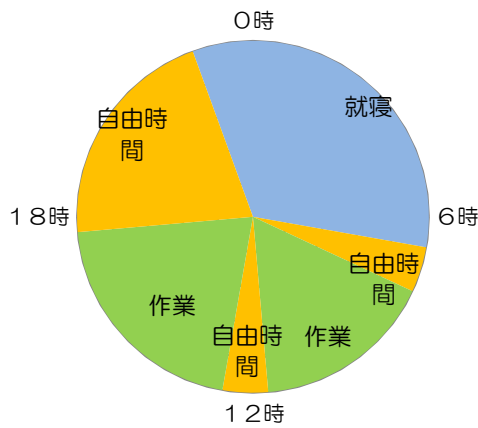


キウイフルーツの収穫



温州みかんの収穫

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

当日又は前日には、家族で作業内容等の打合せを行い、同じ園地で一緒に作業をしています。普通期には、日曜日を農作業の休日としています。農業は健康第一、体力勝負の作業のため、休日はゆっくりと体を休めています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	休日は不定期。天候等により休みをとります					
← 収穫・出荷 →						
【普通期】	栽培管理					休日



「坊っちゃん倶楽部」愛媛果試第28号のハウス団地



愛媛果試第28号の収穫、選別作業



☆これからの夢や目指すもの☆

天候に左右されにくい施設栽培を増やして、経営の安定化を目指したいと思っています。また、果樹は植えてから収穫できるようになるまで期間がかかります。その間、現状や物流の状況、消費動向等をみながら、経営するうえで何が必要か臨機応変に対応できるように広い視野をもって、果樹栽培を続けていきたいと思っています。

☆メッセージ☆

農業は、人に言われてするのではなく自分で決めて行動するものと思います。農業をするうえで自分のスタイルを見つけるためには、農業に自分の個性を合わせるように自ら寄り添っていくこと、そのためには自分と向き合い、広い視野と柔軟な対応が必要と思っています。